

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 先端産業課
 担当名: 総務企画、推進、次世代産業拠点
 内線: 3736 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B34	デジタルテクノロジー活用推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費	
事業期間	平成27年度～令和4年度	根拠法令	なし				宣言項目	08 稼ぐ力の向上	SDGsゴール
							分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsターゲット
1 事業の概要 デジタルテクノロジーを活用した開発支援、県内ものづくり企業へのAI・IoT普及・活用支援。 (1) AI・IoT等のデジタル化普及・活用支援 補助金交付対象企業数が見込みを下回ったこと等による減額 △27,628千円 (2) AI・IoT技術支援 事務費の節減等により生じた執行残の減額 △3,554千円 (3) 社会課題解決型先端デジタル技術実証・実装支援 補助金交付決定額が当初見込みを下回ったことによる減額 △4,490千円 (4) ロボット開発・人材育成支援事業 △9千円 事務費の節減等により生じた執行残の減額				5 事業説明 (1) 事業内容 (ア) AI・IoT等のデジタル化普及・活用支援 89,457千円 県公社内にコーディネータを設置するとともに、AI・IoTコンソーシアム・AI・IoTプラットフォームの運営、デジタル化ハンドブックの作成等により県内中小企業のAI・IoT等のデジタル技術の活用支援、技術者育成、実装支援を行う。 (イ) AI・IoT技術支援 12,901千円 SAITECで構築した「IoT活用支援メニュー」による支援や「AIを活用した生産性向上システム」等を活用し、県内ものづくり企業へのAI・IoTの導入支援を実施する。 (ウ) 社会課題解決型先端デジタル技術実証・実装支援事業 20,510千円 社会課題の解決に資するロボット・AI・IoT・5Gなど先端デジタル技術の社会実装を進めるため、先端デジタル技術を活用した製品の実証実験及び社会実装を支援する。 (エ) ロボット開発・人材育成支援事業 7,991千円 デジタル技術を活用したものづくりについて講義や実習を通して学び、開発や事業化のための人材を育成する。ロボット実証フィールドを運営し、開発製品等の実証実験を行う場を提供する。 (2) 事業計画 令和元年度 AI・IoTコンソーシアム設立、AI・IoTプラットフォーム完成、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援 令和2～3年度 AI・IoTコンソーシアム会員拡大、AI・IoTプラットフォーム機能拡充、AI・IoT普及・活用支援、AI・IoT技術支援、ロボット開発・人材育成支援 (3) 事業効果 ロボット・AI・IoTの導入や人材育成支援等により、県内中小企業の「稼ぐ力」の向上を図ることができる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県産業振興公社、民間企業、専門家等と連携して実施する。 (5) 補正予算の概要 (ア) AI・IoT等のデジタル化普及・活用支援 : 補助金交付対象企業数が見込みを下回ったこと等による減額 (イ) AI・IoT技術支援 : 事務費の節減等により生じた執行残の減額 (ウ) 社会課題解決型先端デジタル技術実証・実装支援 : 補助金交付決定額が見込みを下回ったことによる減額 (エ) ロボット開発・人材育成支援事業 : 事務費の節減等により生じた執行残の減額					
2 事業主体及び負担区分 (1)(国10/10、県0)公社0、(国2/3、県0)事業者1/3【臨時交付金】、(国1/2・県1/2)公社0【地域再生計画関連】(2)(国10/10、県0)【臨時交付金】(3)(県10/10)公社0、(県2/3)公社0事業者1/3(4)(県10/10)事業者0									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 地域振興費(細目) 地域振興費 (細説) 地域振興共通経費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×5.5人=52,250千円									
				財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額
予算額		国庫支出金	繰入金						
決定額	△35,681	△2,056	△33,375					△250	130,859
現計額	166,540	20,080	143,460					3,000	